



# かつぬま旬報



甲州市では、勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観を未来に引き継ぐための取り組みを行っています。そこで、勝沼地域での取り組みについての旬な情報をお届けするため、『かつぬま旬報』を発行しています。

## 「ぶどうとワインのまちを巡る勝沼フットパス」を開催しました！

令和7年9月21日、勝沼の歴史や魅力を伝えるために「ぶどうとワインのまちを巡る勝沼フットパス」を開催しました。当日は、勝沼地域でボランティアガイドとして活動している「勝沼コンシェルジュ」の方々による案内のもと、市内外から集まった参加者の方々と宮光園を起点に日川水制群、甲州街道勝沼宿の街並み、国史跡の勝沼氏館跡などを巡りました。

フットパスは市指定文化財である「宮光園」の見学からスタートし、勝沼地域における日本ワイン醸造の黎明期に想いを馳せていただきました。その後、ブドウ畑の中に見ることができる、国の直轄事業として造られた「日川水制群」を見学し、コンクリートアーチ橋の登録有形文化財「祝橋」へ向かい、日川以南のブドウを当時の勝沼駅まで車で運搬できるようになるなど、産業発展に寄与した歴史を解説しました。

また、所有者の方のご協力により、甲州街道勝沼宿に所在する、国の登録有形文化財「萩原家住宅（仲松屋）」を特別に見学させていただきました。当時の勝沼宿の建物特徴がよく残されている佇まいに参加者一同感嘆の声が上がりま

した！



仲松屋の内観を特別にご案内いただきました！



現在、「日川水制」は、堤防としての機能を果たし、ブドウ畑の中に幹部上面の石張りが露出しているのを見ることができます。

### 第72回甲州市かつぬまぶどうまつり同時開催

### 日本遺産・世界農業遺産認定「ぶどうとワインのまちを巡る勝沼フットパス」開催！

世界農業遺産「関東地域の扇状地に適応した果樹農業システム」、日本遺産の他に現在取り組んでいる文化的景観について、現地を巡りながら解説します。

【開催日時】 令和7年10月4日(土)

<午前の部> 9:00~11:30程度 <午後の部> 13:00~15:30程度

【集合場所】 宮光園

【コース】 宮光園(市指定有形文化財)【集合・出発】→シャトー・メルシャン資料館(県指定有形文化財)→龍憲セラー(国登録有形文化財)→ぶどう冷蔵庫→ぶどう橋→勝沼中央公園(まつりメイン会場)【解散】

※参加申込は締め切りました。



## 勝沼地域で大学生のモニタリング開催！

現在、甲州市では、史跡勝沼氏館跡の再整備等を視野に、今後の方針を計画する保存活用計画の策定事業を実施中です。

この取り組みの一環として、史跡の活用や整備の方向性、社会のニーズを知るために、計画策定の委員である法政大学文学部塩沢先生と先生のもとで学ぶ大学生の方を9月16日・17日にお招きしました。

当日は、勝沼氏館跡をはじめ、大善寺・大日影トンネル・勝沼堰堤・宮光園等の文化財を見学し、地域の景観や風土、その中で生まれ、営まれた歴史を知ってもらいました。

2日目には、「勝沼氏館跡の活用と整備」、「勝沼地域の活性化」をテーマにワークショップ形式で意見交換を開催しました。

大学生からは、史跡等の文化財的価値がわかりやすく伝わり、地元も子どもたちをはじめ来てもらえる整備・場所づくりが大切等との意見がありました。また、その土地に行きたくなるには、「SNS映え」が大切という若者視点の意見もありました。

より良い計画を作るために、今後も色々な方々と意見交換を行いながら進めていく予定です。



## 甲州市立勝沼図書館 カムカムクラブによるデジタルライブラリー映像制作！

令和7年7月19日、勝沼地域の歴史・文化、その魅力を子どもたちによって紹介し、自ら撮影した映像をデジタルライブラリーとして保存・公開する企画「デジタルライブラリー映像制作」を柏尾山大善寺にて行いました。

国宝大善寺本堂をはじめとする文化財や祭典など、子どもたちに元気いっぱいの紹介していただきました！

今年度は、さらに「原茂ワイン」・「勝沼の葡萄栽培用具及び葡萄酒醸造用具」のデジタルライブラリー映像制作も予定しています。

～子ども読書クラブ(カムカムクラブ)とは～

勝沼図書館の教育事業のひとつで、小学校3～4年生の児童対象の会員制子ども読書クラブです。



【大善寺山門(県指定文化財)】

## 今日の勝沼ワンポイント

### Collection12 鳥居焼き

「甲州市かつめまがどうまつり」の夜、今年の収穫への感謝と来年の豊作を祈りつつ、鳥居の形に積まれた護摩木に火が灯されます。

元来、大善寺の祭事の盆の送り火として、旧暦7月14日に行われていました。明治元年(1868)に廃仏毀釈の流れの中で休止となりましたが、明治40年(1907)に再開、しかし二度の大水害により休止となりました。

その後、昭和9年(1934)にぶどうまつりの一環として再開しましたが、戦争により再び休止となりました。まだ、終戦の色合いも濃い昭和23年(1948)、勝沼の有志たちの呼びかけにより、峡東地域一帯の祭礼として再開され、現在まで受け継がれています。



発行：甲州市教育委員会 生涯学習課文化財担当  
山梨県甲州市塩山上於曾 1085 番地 1  
TEL 0553-32-5076/FAX 0553-32-5172  
令和7年10月1日発行

詳しくは

勝沼 文化的景観



かつめま旬報 vol.16は、12月1日発行予定です。

